AGRI WORK POINT（アグリ ワーク ポイント）

茶

茶樹の生育しやすい環境を作りましょう

茶指導販売課　菊川

今月から梅雨が明け、いよいよ夏本番を迎えます。

この時期に生育した枝葉は翌年の母枝・母葉になりますので、土壌改良剤の施用・防除など茶樹の生育に適した環境づくりを行い、収量・品質向上に繋げましょう。

土壌改良資材の施用

茶園における土壌ph値（土壌酸度）は4.0～4.5ほどが適正値とされています。

土壌中のph値が下がると生育に影響することもありますので、この時期に土壌改良材を施用します。ph値は土壌分析などによって確認ができますので、定期的に分析を行って良好な生育環境を作りましょう。

使用資材：苦土石灰資材など
使用時期：7月中旬～下旬頃
施用量：100～150kg／10aを目安に

除草作業

茶園内に雑草が多くなると茶園の景観が悪くなるだけでなく、摘採時の混入などにも繋がりますので、刈払機・除草剤を使用しこまめに除草作業を行うことが大切です。

※防除規制期間内は除草剤の使用ができなくなるため、各地区の防除情報などをあらかじめ確認しておきましょう。

病害虫の防除

①チャノキイロアザミウマ・チャノミドリヒメヨコバイ

発生を抑えるには三番茶の萌芽期～開葉期頃に防除を行うことが大切です。薬剤散布を行う際はラベルをよく読み、希釈倍率・散布量等の使用基準を守って防除を行いましょう。

②ハマキムシ類

発蛾最盛期が防除適期になります。

下記二次元コードより管内のフェロモントラップ予察情報を確認できますので、気象情報とともにこまめに確認し防除適期を逃さないようにしましょう。

JA大井川 環境保全情報
（フェロモントラップ予察情報）